



嵐山町長
佐久間 孝光

あけまして おめでとうございます。

試みを実践しています。「今年こそは……」と私自身も心より願っているところです。昨年12月には、川島地区に民間主導による産業団地建設に向けた区画整理組合設立準備会も設立され、動き始めました。町もしっかりと協力してまいります。

「新たな町内胎動」

むさし台青年会の方々は、駅東口ロータリーの除草作業を毎週実施。昨年10月には区の役員の方々にもご協力いただく中で公園等の大規模な除草作業、ロータリー内への花植えを実施していただきました。当日は青年会長が第一声、区長さんがしっかりと後方支援、後日行われた反省会ではさまざまなご意見を頂き大変参考になりました。「先ずできることは自ら行う」方々の姿勢は、とても清々しいものでした。感謝。



令和4年の新春をお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大も、第6波の心配はあるとは言え、ワクチン接種の進行とともにかなり抑制されつつある中、国では更なる感染拡大防止対策ならびに経口薬等の治療体制の確立や国産ワクチンの開発の加速化を進める一方、経済再生に向けて大きく舵を切り始めています。町といたしましても、国や県と歩調を合わせ、新しい生活様式を基本に行政をしっかりと前進させてまいりたいと考えております。さて、昨年その議論の進め方において問題点が指摘され、仕切り直しをさせていただきました学校再編等に関する検討は、行政的には異例の早さで昨年6月の議会において審議会設置に関する条例が可決され、遅滞なく検討を

進めて頂いているところであります。校舎の老朽化、児童生徒数の減少のみならず、学校再編等を期待して嵐山町に引越して来られた方々もいらっしゃることも承知いたしております。また、時代の流れとともに世界を視野に入れた取り組み、教育内容が求められており、学ぶべきことをしっかりと学ぶことができる環境の一日も早い実現に向け全力を傾けてまいります。駅西口ロータリーや旧国道254号線沿いの歩道整備は、地権者の方々のご理解とご協力のもと順調に進展しています。花見台工業団地拡張工事も、県や関係者各位の粘り強いご努力のお蔭で、実現の目途が立ってまいりました。皆さまの関心が高いラベンダー園は、関係者が日々格闘し、自然の厳しさを認識しつつ現実と向き合う中でさまざま



嵐山町議会議長
森 一人

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、嵐山町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、穏やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から嵐山町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、約2年前から始まった新型コロナウイルスの流行であります。現状においては、感染拡大の波も少し落ち着いていますが、その間、町民の皆さまには連日にわたる予防対策に努めていただき、感染の拡大防止にご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。そして、コロナ禍は感染拡大や深刻な経済への打

撃だけでなく、人と人とのコミュニケーションへの阻害も引き起こしてしまっています。今一度、人と人との絆を大切にいただき、更なる地域コミュニケーションの発展にご尽力をいただきますよう切にお願いいたします。議会といたしましては、これからも「町民の声を町政に届ける」という責務を更に遂行してまいります。今後も、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、議会としての機能維持と権能の発揮に議員一同、全力で取り組んでまいります。

また、暗いニュースだけではなく、連日にわたり放映されていた東京2020オリンピック・パラリンピックでのアスリートの活躍がありました。オリンピック開催の有無についてはさまざまな意見があるとは思いますが、アスリートたちの懸命な姿に純

粋に「感動と希望」を覚え、同時に「人間の進化の可能性と逞しさ」を感じました。この新型コロナウイルスに負けることなく、この局面を共に乗り越えていきたいと思います。

嵐山町議会は、これからも町民の皆さまの声を大切に、多種多様な町政課題に取り組み、町が掲げる「未来へつなぐ ひと しぜん くらし」とともに学び育むまち「らんざん」の実現に向け、町執行部に対して、各種施策・事業におけるチェック機能の強化に取り組んでまいりますので、今後とも皆さまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

迎えた令和4年が町民の皆さまにとりまして笑顔溢れる素晴らしい年になりますよう衷心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

